



平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年8月2日
上場取引所 東 名

上場会社名 株式会社 フジインコーポレーテッド
 コード番号 5384 URL <http://www.fujimiinc.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 関 敬史
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務本部長 (氏名) 鈴木 彰 TEL 052-503-8181
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月9日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	8,720	11.3	1,183	29.9	1,143	25.8	751	7.9
29年3月期第1四半期	7,831	△7.7	911	△26.6	909	△30.5	696	△25.0

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 896百万円 (-%) 29年3月期第1四半期 △377百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	30.50	—
29年3月期第1四半期	28.14	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第1四半期	53,299	46,376	87.0	1,881.52
29年3月期	53,699	46,164	86.0	1,872.91

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 46,376百万円 29年3月期 46,164百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	25.00	—	28.00	53.00
30年3月期	—	—	—	—	—
30年3月期(予想)	—	25.00	—	28.00	53.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	17,000	4.6	2,000	△4.8	2,050	△5.6	1,450	△15.2	58.83
通期	34,000	2.7	4,100	△4.2	4,200	△7.1	3,000	△10.5	121.71

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期1Q	28,699,500株	29年3月期	28,699,500株
② 期末自己株式数	30年3月期1Q	4,051,141株	29年3月期	4,051,141株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期1Q	24,648,359株	29年3月期1Q	24,761,744株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の当社グループを取り巻く環境は、世界各国において政治、政策面での先行き不透明感が残っているものの、米国経済は景気回復が持続し、日本、欧州経済は力強さを欠くものの緩やかな景気回復に向かい、中国では景気持ち直しの動きがみられました。また、世界半導体市場は、ロジックデバイス、メモリデバイスともに堅調な需要に支えられ、好調に推移しました。

こうした状況下、当社グループでは一丸となって売上拡大とコスト削減に努めました結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高8,720百万円(前年同期比11.3%増)、営業利益1,183百万円(前年同期比29.9%増)、経常利益1,143百万円(前年同期比25.8%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益751百万円(前年同期比7.9%増)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

日本につきましては、シリコンウェハー向け製品及び最先端メモリデバイス向けCMP製品の販売が好調に推移したことにより、売上高は4,589百万円(前年同期比6.0%増)、セグメント利益(営業利益)は販売増加に加え製品構成の良化により1,072百万円(前年同期比29.3%増)となりました。

北米につきましては、最先端ロジックデバイス向けCMP製品の販売が好調に推移したことから売上高は1,453百万円(前年同期比24.4%増)、セグメント利益(営業利益)は販売増加に加え製品構成の良化により228百万円(前年同期比75.6%増)となりました。

アジアにつきましては、最先端ロジックデバイス向けCMP製品及びハードディスクドライブ向け製品の販売が好調に推移したことから、売上高は2,285百万円(前年同期比13.2%増)、セグメント利益(営業利益)は317百万円(前年同期比13.8%増)となりました。

欧州につきましては、シリコンウェハー向け製品の販売が好調に推移したことにより、売上高は391百万円(前年同期比25.0%増)、セグメント利益(営業利益)は43百万円(前年同期比27.7%増)となりました。

主な用途別売上の実績は、次のとおりであります。

シリコンウェハー向け製品につきましては、半導体市場好調の影響により、ラッピング材の売上高は892百万円(前年同期比8.3%増)、ポリシング材の売上高は1,660百万円(前年同期比11.9%増)となりました。

CMP向け製品につきましては、半導体市場の好調を背景に、ロジック、メモリともに最先端デバイス向け製品需要が増加したことにより、売上高は3,495百万円(前年同期比23.9%増)となりました。

ハードディスク向け製品につきましては、前年下期から引き続き販売が好調に推移したことにより、売上高は903百万円(前年同期比16.0%増)となりました。

非半導体関連の一般工業用研磨材につきましては、最終製品の製造プロセス変更等の影響により、売上高は1,079百万円(前年同期比14.4%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産総額は、前連結会計年度末に比べ、399百万円減少し、53,299百万円となりました。これは、受取手形及び売掛金が406百万円増加したものの、現金及び預金が670百万円、流動資産のその他が94百万円それぞれ減少したこと等によるものです。

負債総額は、前連結会計年度末に比べ、611百万円減少し、6,923百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が152百万円、流動負債のその他が358百万円増加したものの、賞与引当金が549百万円、未払法人税等が605百万円それぞれ減少したこと等によるものです。

また、純資産は前連結会計年度末に比べ、212百万円増加し、46,376百万円となりました。これは、利益剰余金が67百万円、為替換算調整勘定が119百万円増加したこと等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間において、半導体市場の好調を背景に、売上高及び利益が予想を上回る結果となりました。最近の業績動向を踏まえ、平成29年5月12日に公表した平成30年3月期の第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想を修正いたします。

詳細につきましては、本日付で別途開示しております「連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び子会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社の異動もありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	24,332	23,661
受取手形及び売掛金	7,239	7,645
有価証券	500	500
商品及び製品	3,275	3,184
仕掛品	847	813
原材料及び貯蔵品	1,598	1,604
繰延税金資産	544	330
その他	302	208
貸倒引当金	△17	△18
流動資産合計	38,623	37,931
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,262	7,165
その他(純額)	6,372	6,755
有形固定資産合計	13,635	13,921
無形固定資産	509	501
投資その他の資産		
投資有価証券	709	727
繰延税金資産	120	117
その他	109	109
貸倒引当金	△9	△9
投資その他の資産合計	930	944
固定資産合計	15,075	15,367
資産合計	53,699	53,299

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,226	3,379
未払法人税等	866	261
賞与引当金	1,002	452
役員賞与引当金	-	19
その他	1,815	2,173
流動負債合計	6,911	6,286
固定負債		
繰延税金負債	7	6
退職給付に係る負債	579	592
その他	37	37
固定負債合計	623	636
負債合計	7,535	6,923
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,753	4,753
資本剰余金	5,038	5,038
利益剰余金	41,013	41,081
自己株式	△5,108	△5,108
株主資本合計	45,697	45,764
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	254	267
為替換算調整勘定	344	464
退職給付に係る調整累計額	△132	△119
その他の包括利益累計額合計	466	611
純資産合計	46,164	46,376
負債純資産合計	53,699	53,299

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	7,831	8,720
売上原価	4,724	5,279
売上総利益	3,107	3,440
販売費及び一般管理費	2,196	2,257
営業利益	911	1,183
営業外収益		
受取利息	6	8
廃棄物処分益	10	7
その他	6	7
営業外収益合計	23	24
営業外費用		
為替差損	12	61
その他	12	2
営業外費用合計	25	63
経常利益	909	1,143
税金等調整前四半期純利益	909	1,143
法人税、住民税及び事業税	137	187
法人税等調整額	75	204
法人税等合計	212	391
四半期純利益	696	751
親会社株主に帰属する四半期純利益	696	751

(四半期連結包括利益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)
四半期純利益	696	751
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△14	12
為替換算調整勘定	△1,071	119
退職給付に係る調整額	12	12
その他の包括利益合計	△1,074	144
四半期包括利益	△377	896
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△377	896

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	日本	北米	アジア	欧州	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高							
外部顧客への売上高	4,331	1,167	2,018	313	7,831	—	7,831
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,438	205	56	—	1,700	△1,700	—
計	5,770	1,373	2,075	313	9,532	△1,700	7,831
セグメント利益	829	129	278	34	1,272	△361	911

(注) 1. セグメント利益の調整額△361百万円は、セグメント間取引消去△16百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△400百万円及び棚卸資産の調整額55百万円であります。全社費用の主なものは、当社本社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	日本	北米	アジア	欧州	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高							
外部顧客への売上高	4,589	1,453	2,285	391	8,720	—	8,720
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,819	235	65	—	2,121	△2,121	—
計	6,409	1,689	2,351	391	10,842	△2,121	8,720
セグメント利益	1,072	228	317	43	1,661	△478	1,183

(注) 1. セグメント利益の調整額△478百万円は、セグメント間取引消去0百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△414百万円及び棚卸資産の調整額△64百万円であります。全社費用の主なものは、当社本社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。